

# 公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会 （平成30年度第1回）

【日時】平成30年5月6日（日） 17:00～19:20

【会場】神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席13名】理 事：清水、服部、窪田、秦、栗田、藤田、萱間、吉田、林

監 事：松原

相談役：日野、千葉

事務局：定成

【欠席 2名】理 事：榊原

監 事：森下

【議長】清水

【書記】定成

【議事録署名人】清水、松原

## 【議題】

### 〔I〕報告事項

#### 1. 会務報告

##### ・第13回かながわ鍼灸マッサージ推進協議会（4/5）

・秦副会長より、別紙報告書の補足として、今年度より2年毎に会長を変更することになり、伊勢山先生が会長に、小谷田先生と、秦先生が副会長に選任されたとの報告があった。

##### ・第1回業務執行理事会（4/11）

・秦副会長より、会員に関する定款改正の件について、方向性が決まったことが報告された。  
・業務執行理事会は、新年度は7回から6回に変更されるとのこと。

#### 2. 各部からの報告

##### ・学術部より（藤田学術部長）

・3/24 診察学講座打ち合わせについて：今年度より診察学3が追加されたこと、場所は山王メディカルセンターにて、武田教授の診察見学・カンファレンスがあること、1, 2の修了者にもり実践的な内容となり、価格は高めだが、医療連携できる人材育成を目指す目標設定がされているとの追加報告があった。

##### ・広報普及部より（秦副会長）

各イベントの参加人数の報告があった。

・小田原尊徳マラソン（3/11）：会員7名出席、マラソン参加者は最も多かったとのこと。

・市民健康講座（3/18）：石田先生による膝痛講座を開催、参加者17名、内会員9名。

・広報普及委員会（3/19）：平成30年度の活動に対し、災害支援からマラソン、他多岐にわたる議題があったとのこと。

#### ・保険部より（服部副会長）

- ・療養費適正運用研修会（3/25）は、日鍼会小林先生を講師に迎え、受領委任払への移行について講義いただいた。会員 28 名、一般 1 名が参加。
- ・認知症サポーター養成講座（4/1 午前）は、会員 20 名一般 3 名が参加
- ・スキルアップ研修会（4/1 午後）は会員 15 名、一般 2 名が参加。

#### ・組織共済部より（窪田副会長）

- ・今年度国家試験に受からず厳しかった現状報告と、今年度から会費設定したことの影響で、会員数が減る事が予想される中、2 名が正会員への切り替え希望者があったと報告があった。その他の生徒の状況は、湘南医療専門学校星先生に、教えてもらうとのことだった。

### 3. 入退会の報告（5月6日現在）

- ・秦副会長より、別紙の通り報告があった。

### 4. みなし決議

- ・秦副会長より、入会審査のみ 8 件（正会員 7、学生会員 1）だったとの報告があった。

### 5. その他

- ・なし

## 〔Ⅱ〕 審議事項

### 1. 総務部より（秦副会長）

#### ①総会次第内容および郵送物の確認について

- ・総会での役割について、司会が秦副会長から、藤田業務執行理事に変更された。
- ・第 4 号議案の『平成 30 年度事業方針』は、例年通り清水会長から報告される。
- ・総会資料は、5/11 に会員へ発送する（次第、委任状、立候補者一覧、監査報告書を同封）
- ・注意事項として、会員の氏名（漢字）を確認すること、が事務局に指示された。

#### ②定款改正の件

- ・別紙の通り一部改定の提案がされた。前回理事会、業務執行理事会での協議を重ねた経緯もあり、全会一致で承認された。

#### ③役員選挙規定の件

- ・総会後の理事会で、推薦人については改めて提案し承認を得ることになった。
- ・特別会員は推薦人になれるか？（藤田学術部長）という質疑に対し、「賛助会員も特別会員もなれるが立候補はできないのが筋ではないか」との回答があった（清水会長）

### 2. 財務部より

#### ①平成 29 年度決算の件

- ・財務担当の千葉相談役より、別紙平成 29 年度財務諸表の説明がなされた。PCA 会計ソフトを導入し、慣れない中での作業は、大変だった。前年度もかなり大変だった。ソフト導入により、今後は効率化が図れるとの報告があった。
- ・栗田財務部長より、別紙平成 29 年度決算報告の説明がなされた。収支は成果が見られ、公益比率が大幅に改善と言えるが、3 年連続赤字という結果との報告がされた。
- ・収益増の要因としては会員増加が、収益減の要因としては指導会や学術部講演会費の減少、

経費の増加が挙げられた。今後の収入源確保として、会費の引き上げの考慮も示唆された。

- ・以上の内容で、総会で報告する事につき、全会一致で承認が得られた。

### 3. 学術部より（藤田学術部長）

①大屋朗先生の学術部員推薦については、全会一致で承認された。

#### ②クラウド案

- ・事務局、理事で共有するデータについては、現在、膨大なメールを確認しながら資料を探す事が、タイムラグや、最新データの共有が困難になりつつあることが問題点としてあげられ、ネット上のクラウドを活用方法が提案された。
- ・ファイルの共有／無料だが安全性高い／いつでも見られる／移動保管でデータ量の管理できる、という観点で、BOXクラウドの使用は効率化が期待できると予想できるため、全会一致で承認された。

#### ③当会行事郵送に関する提案

- ・添付のとおり、現在情報提供している神奈川県内の専門学校と、東京都内では2校以外の、近接する他県へも郵送する提案がなされ、意見交換の結果、まずは今年1回のみ試してみる』という内容で、全会一致で承認された。意見交換内容は以下のとおり。
- ・学生から会員になる人が少ないので、やる意味があるか？（吉田）
- ・学生時代に知らせることしか、現在は方法がないので、今はこれが最適かと思う（藤田）
- ・学校の先生方への周知は必要では？（清水）
- ・年1回、熱海の東海医療を追加し、千葉や群馬は送らないという話し合いがあった（秦）
- ・東鍼会は周知必要か？（林）
- ・既に、共催している診察学などで東鍼会と共有できていると思うので必要ない（藤田）
- ・事前に来れるならば、理由や目的も添えて各校に問い合わせてはどうかという意見があり、リサーチをする追加提案がなされた。（秦）

### 4. 広報普及部より（萱間広報普及部長）

#### ①神鍼会 HP のコンテンツ修正に関する提案

- ・別紙の通り提案があり、全会一致で承認された。修正内容は、萱間部長に一任された。コストは変わらず、わかりやすい内容表示から、イベント集客や新規会員獲得につながることを期待される。

#### ②ケアコンボランティア内容のHP掲載について

- ・別紙の通り提案があり、全会一致で承認された。①同様、コストは発生せず、より詳しい当会の活動内容を掲示することで、会員外の方にも当会が見えるようになることが期待される。

③この指とまれプロジェクト（古典研究会、災害、サイゼミヤ、お灸教室、等）も当師会の活動としてHPに具体的な報告を載せたらどうかという提案があった。リスクも含め様々な考えがあり、より効果的な内容を精査するため一旦保留となった。質疑応答は以下の通り。

- ・どの内容を載せるか？（活動報告なのか、募集までなのか、連絡先までなのか？）もう少し詰めた方がいいかと思う（清水）
- ・申込につながる誘導になると望ましい。「やっています」という紹介だけでなく、活動報告としてもっと情報を伝えたい（萱間）

- ・共通のフォーマットを使用したい。お灸セルフケア教室の様子を写真で載せるなど。
- ・実際活動していて、会員が増えた実績がある。告知には肯定的（秦）
- ・HPに掲載すると、連絡先は基本的に本人となる。今後は各人に掲載する許可を得た方がよい（藤田）

#### ④療養費の取扱いHP掲載について

- ・当師会の療養費の取扱いをHPでもっとアピールしてはどうか？という提案がされた。トップページに「療養費について」のメニューアイコンを作る。受領委任払いが始まることも載せた方がいいのでは、コストもかからない範囲でできる。療養費の扱いを知らせるためにも必要ということで、全会一致で承認された。質疑応答は以下の通り
- ・東鍼会のHPには療養費のページがある。なぜ当師会はなかったか？（秦）
- ・公益として考えたため、載せなかったのか？（服部）
- ・一般向けか？会員向けか？（日野）
- ・一般の人が見やすいほうがいいのでは（秦）
- ・一般向け、会員向け、どちらもあったほうがいい（服部）

#### ⑤横須賀シーサイドマラソンについて（長野会員による提案）

- ・横須賀市商工会議所からの参加打診についての報告があった。新規参入に興味はあるが、予算なども含めて不明な部分が多いため、改めて情報収集の後、提案してもらうことになった。

### 5. 保険部より

- ・審議事項は特に挙げられなかった。

### 6. 組織共済部より

#### ①学生会員の年会費について

- ・林理事より、学生会員の年度後期入会時の会費について別紙のとおり提案があり、全会一致で承認された。

#### ②会費による定款施行規則の変更について

- ・窪田副会長より、定款施行規則の変更箇所について別紙のとおり説明があり承認された。

#### ③会費規則の作成（新設）について

- ・窪田副会長より、会費規定については新設し、現在の定款施行規則から独立させる案が挙げられた。次の総会を待たずに理事会で変更や訂正が可能になる。
- ・細かいことを規定と同じように理事会で決められる方がよい（服部）
- ・変動が多い部分、定款施行規則はあまりかえない方が理想的（秦）
- ・会費の扱いは、規定なのか？規則なのか？認識の程度によるものなのではないか？（窪田）との問いに対し、「会費は規則並みの内容と考えて、理事会で承認できるよう、独立させる方がいい」という意見が多数となった。
- ・今回決議するか？今年度は提案のみで、総会後の理事会で改めて提案してはどうか？（千葉）

以上から、総会後の理事会で提案することとなった。

#### ④国家試験不合格者（学生会員）の対応について

- ・林理事より、別紙のとおり提案があった。本年度の合格率が非常に悪く、2つの資格のうち一方しか合格しない、どちらも不合格、など本人もモチベーションが下がる程であるための

救済措置として設置するための提案とのこと。以下の定義が新たな条件として挙げられた。

- ・どちらか一つの資格があれば、会員になれる（「はり師またはきゅう師の免許を有し、」と。定款の会員資格にも記載）
  - ・どちらも不合格だった場合、学生会員扱いとする（1年間などの期日は設けない）
  - ・入会希望で、どちらか一方の合格者は、正会員とみなす。
  - ・入会希望で、学生ではないが、どちらも不合格だった方は、学生会員とみなす。
- 以上、全会一致で承認された。

## 7. 事務局より（吉田）

### ①会員証更新についてGKカードの購入について

- ・別紙の通り3年前と同様300枚発行するという提案があった。3年毎の更新期日を管理する事、予算をとっておくことが注意事項としてあげられた。提案については全会一致で承認された。

### ②GKカードの購入について

- ・例年の追加枚数に倣い、本年も同様に20枚追加するという提案があり、全会一致で承認された。

## 8. その他

### ①危機管理委員会設置について

- ・秦副会長より、別紙のとおり提案がされた。今後は日本鍼灸師会との連携が必須であること、当会の広報事業の中にある「災害医療研修会」「救命救急講習会」を危機管理委員会の事業として独立させる形で設置するかどうか、について審議された。
- ・委員会という名称については日本鍼灸師会にあわせたもの。名称はそのまま利用することとし、広報の事業に組み込むのではなく、独立させるとして全員一致で承認された。
- ・委員会を設置することで、今後、活動従事者を決める必要がある。

次回、平成30年度 第2回理事会の開催日時及び開催場所は以下のとおり。

開催日時：5月27日（日）総会終了後 16:00～18:00

開催場所：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 事務所

以上、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成29年5月10日

代表理事

印

監 事

印